



丸山 ほだか 略歴

昭和59年1月10日大阪生まれ（31歳）。東京大学経済学部卒業後、経済産業省勤務、松下政経塾（30期）を経て、衆議院議員。

衆議院議員

丸山 ほだか

本号では、丸山ほだかさんの目指す政策などを伝えします。

田中角栄 31才11ヶ月（昭和25年4月）
丸山穂高 31才 6ヶ月（今国会にて）

法案提出者答弁 史上最少記録！

消費税、総理へ問う

衆議院財務金融委員会の理事に就任し、党を代表して本会議での安倍総理と麻生財務大臣に対する税制改正の質疑を行いました。国民の皆さんにご負担をお願いする消費税10%への増税は「必ずやる」という一方、その前にやるべき議員・公務員自身の身を切る改革や歳出削減については、政府側の曖昧な答弁が続きます。

税は生活や経済に直結する大事な案件でも前向きな政策変更を求めて参ります。



安倍内閣の安全保障法制に対しては、大多数の憲法学者等が憲法違反と指摘しており、国会で安倍総理が説明すればするほど国民の反対が強まっています。一方、維新の党は他の国の戦争に加担しないとの党の理念のもと、自国防衛に徹し、実力行使は憲法の枠内に限定する案を維新独自案として党議決定し、各党に示して協議を求めました。

7月8日には国際平和協力支援法案、平和安全整備法案、領域警備法案を、丸山穂高も法案提出者の一人として名を連ね国会に提出しました。

安倍法制特別委員会では7月10日から、維新の党提出の独自案に対しても審議が行われ、私も答弁者として丁寧な法案説明を行つてきました。

維新独自案に対しては、多くの憲法学者や歴代の内閣法制局長官が憲法に適合していると認定し、現実の状況にも対応できる優れた案、との高い評価を受けています。維新の党は、責任政党として違憲の政府案に代わる合憲の独自案について国会における徹底審議を求め、成立を目指します。



安保、合憲の維新案提出

国政報告会の定期開催

「なるほど！国会座談会」
開催させていただきます。

政治の現場の生の情報をより早く、そして正確に皆さんにお届けしたいと考えています。

各地で随時開催しておりますが、ぜひ皆さんとのところにもお問い合わせ下さい。

皆さんからの質問に分かりやすくお答えします！



数名の方々の集まりでも構いません。

地域のどこへでも駆けつけますご連絡は下記事務所まで。

